

# 月刊 JMITU ティンクルカ



1月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2020年発行

No.421

# 大企業の内部留保を賃上げに！

## 2020年春闘準備開始

### 分社・合併の繰り返し

昨年末に、セガゲームスを存続会社とする吸収合併でセガ・インタラクティブがなくなり、2020年4月からセガという会社になると言う発表がありました。

2015年4月に、組織再編で「グループ 各社の担当事業領域を明確にするとともに、今後もグループが保有する事業の継続的な見直しを行い、更なる事業再編を進めるため」と新会社が設立されました。

分社や新たな会社の設立といった事は、経営判断が行う事とはいえ、そこで働くものにとつては大変なことです。リストラや企業の将来など不安でしかありません。

### 労働者生活と労働状態悪化

賃金は1997年をピークに下がり続けています。低賃金の非正規雇用の比率が高まっているだけでなく、正社員の賃金も実質的には上がっていません。一方で税金・社会保険料の負担が増続けています。20年前の同一年齢と比較すると40代〜50代では10万円近くも手取り賃金が下がっていると言う試算もあります。

昨年10月に消費税が10%に引き上げられました。電気や水道などの公共料金もいつせいに値上がりしました。食料品以外の生活必需品は10%に増税され、光熱費や運送費なども値上がりしています。これからが生活悪化の本番

であり大幅賃上げの願いは現実です。

あらゆる産業で人手不足が深刻化しています。少子化の影響だけでなく、低賃金・過重労働などで若者の離職率が高まっている事が大きな要因です。

### 大幅賃上げと消費税減税が最大の景気回復

日本では20年間、経済成長がほとんどありません。20年間も経済成長がない国は日本だけできわめて異常です。

それは労働者の賃金が上がらないうえに、消費税増税や社会保険料の負担増で、国内消費が大きく冷えこんでいることに最大の要因があります。

労働者のくらしは苦しくなる一方ですが、大企業は大儲けを続けています。資本金10億円以上の大企業の内部留保は

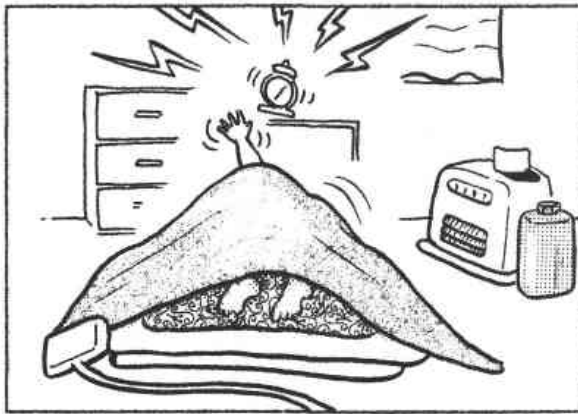
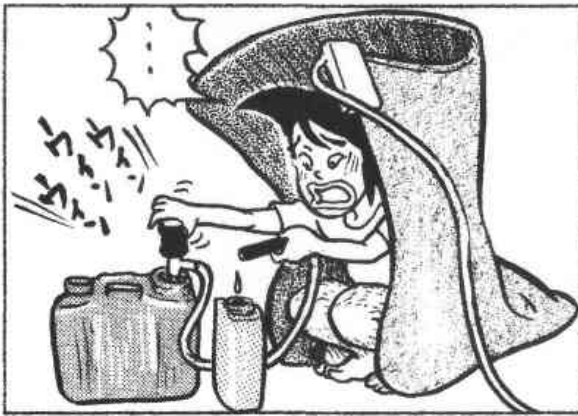
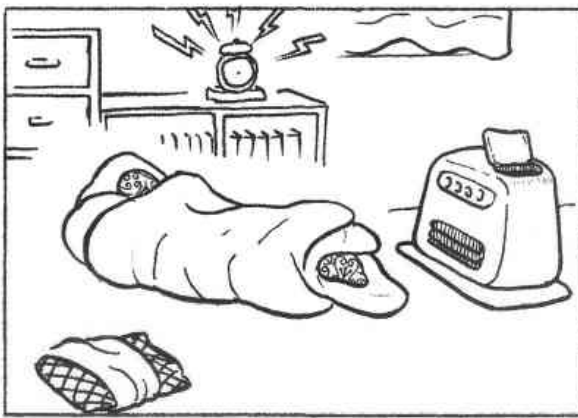
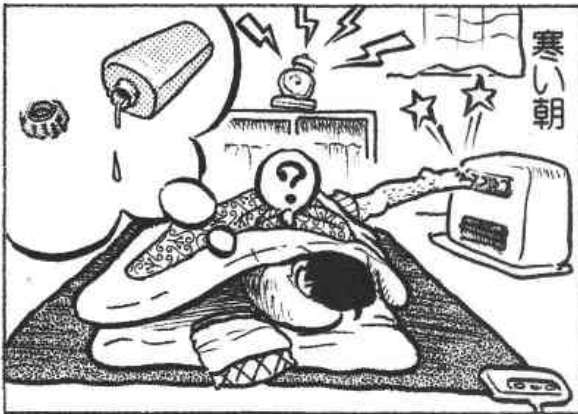
449兆円を突破し、国家予算をはるかに上回る過去最高を更新しています。(2018年)

政府は「社会保障制度をまもる為、財政を再建する為」と消費税増税を正当化しています。大企業減税の穴埋めに使われるだけです。大企業の膨大な利益や内部留保を労働者の賃上げや社会保障充実に活用すべきです。

4月には非正規労働者の賃金や、一時金などの手当・福利厚生などについて、職場内の正社員との均等・均衡を義務付けるパート・有期労働法が施行されます。手当てなど個別の項目事に不合理な格差がないようにしなければなりません。法改正に携わった教授は一時金について、「支給なし」は論外「寸志」程度も駄目だと強調しています。貢献に見合った支給が必ずや必要になります。

# 4こ末漫画

川崎よしき



ショートショート

## 初夢

仙洞田一彦

「ワンチーム」ってラグビーのチームのスローガンじゃないのかと、疑問を持ちながらサッカーをしている夢を見ている。スローガンなんてどっちでもいいじゃないか。だいたいスローガンかどうかも分からない。疑問を持たなくていいんじゃないかとも思っている。芝生の上を走っている。

俺はこんなにサッカーがうまかったのかと、疑問を持ちながら夢を見ている。なぜ夢のなかでまで疑問を持ち続けなければならぬんだ。芝生を転がるボールは、右足からほとんど離れない。左足にボ

ールを移しても左足のつま先から、ほとんど離れない。信じられないことだが、つまづくこともなく、前を向いて走っている。しかも、余裕だ。

スーツにネクタイ姿。黒革の靴で走っている。でも周りにはユニフォームのTシャツにパンツ、ストッキング、スパイク姿だ。なぜ俺だけがネクタイ姿なのか、疑問もあるが、あまり違和感もない。

ドリブルしながら相手ゴールの前まで来た。前にいるのは相手チームのキーパー一人。いまだ、いま蹴れば一点取れる。そう思っただけでキックしようとしたとき「ワンチーム」という声が聞こえたような気がした。

どういう意味だろうと考えた。声の方向を見ると、味方

の選手らしいのが見えた。

シュートしろというなら「シュート」と言うだろう。「ワンチーム」って何だろう。

俺の頭が混乱し始めた。

この位置なら、俺だって一点取れる。暗に、お前だけに成果を上げさせないという意味で言ったのだろうか。こっちにボールを回せということなのか。味方ならシュートを進めるだろう。言ったのは相手チームの選手か。

キーパーが上目遣いのすごい目で、両手を思いつき開いて、「さあ、来い」と構えている。キーパーの迫力に、不安がよぎった。俺でも確実に一点取れると思っても、もしかするとキーパーがすごい奴で、阻まれてしまうかも知れない。そうすると上司からも、

仲間からも責任を追及されるかも知れない。なぜ監督でなくて上司なのか。

いや、ここで勇気を奮い起こさなければならぬ。俺の才能を見せるのだ。たとえ点を取れなかったっていい。挑戦するのだ。上司だって、挑戦する気持ちがあればだめだと言っている。人生は挑戦か。待てよ、いま俺に声を掛けたのは、相手キーパーの才能を良く知っている奴かも知れない。

俺は声のした方にボールを蹴った。ボールはキーパーの方ではなく、ゴールと並行し、真横に転がった。強く蹴ったはずだが、ボールはもたもたと転がっている。「ウォーッ」と、観客席から

声が上がる。危険を避けた臆病な俺への叱責なのか、俺の慎重な判断をほめたのか、どちらか分からない。いいかげん、てきとうに上げた歓声のように聞こえる。

ボールは転がっているが「ワンチーム」と声を出したと思われる奴になかなか届かない。ゴールに向かって蹴ればよかったと後悔が生まれたが、これでいいのだという安心感もあった。点は取れないかも知れないが、パスとともに、責任も一緒に向こうに転がって行った。

勇気も失敗すれば、蛮勇と呼ばれる。もともと評価が高い奴の蛮勇は、失敗しても「惜しかったね」と同情してくれる。しかし俺がやって失敗したなら、「自分の能力も分から

ないで、よくやるよ」なんて白い目で見られるのがオチだ。しかし、才能というのは自分で限度を作ってはいけない。そこを突破しなければ、才能は伸びて行かない。

目が覚めた。どこかで誤解が生じたらしい。サッカーはテレビで見ただけのことであってもやったことはない。それにしても「ワンチーム」はどこから来たんだろう。目を閉じたまま考えた。テレビで盛んに流していたから、別にその言葉が浮かんでも不思議はないか。

ああ今日から出勤か、と思った途端思い出した。仕事納めの日、ことあるごとに挨拶が好きな部長が、みんなの前で言ったのだ。「我々も、来年はワンチーム

でがんばりましょう」

耳にしたとき、低い評価をつけやがってと、反発の思いがよぎったのだ。チーム、チームと言ったって、成果はどこかよその方に行ってしまい、俺の方には来ないのだ。部長の言葉のインパクトで、へんな夢を見たのだと思った。

待てよ。瞬間目をパチツと開けて、すぐ閉じて思った。初夢だ。ボールが回ってきたこともない俺に、ボールが回ってきた夢を見たのだ。今年はひよつとすると、ひよつとするかもしれない。

だが、結末が分からない。誰にボールを回したのかな。そのボールがどうなったのか。パスを受けた奴がゴールし、点数を稼いだのか。それでも

チームが勝てばいい。「ワンチーム」だ。いや、成果を横取りされたら腹が立つ。俺は太腹ではない。逆に転がったボールが相手チームに取られ、俺のパスミスになるのか。

瞼に力を込めて目をしっかりと閉じた。夢の続きを思い出そうとした。

ゴールに向かっては蹴らなかった。誰かにパスしたのだ。そいつのスパイクと、ストッキングまでは見えるが、なぜか顔が見えない。気が付いたらスーツ姿から、Tシャツとパンツ、スパイク姿になっていた。押ししたり、退いたり、一生懸命走っているが、ボールが一向に回って来ないどころか、どこにボールがあるのかさえも分からない。目覚まし時計が鳴った。

## アベノミクス

第2次安倍政権が発足してから8年目になります。安倍政権はアベノミクスで巨額の財政支出を行い、日銀には異次元の金融緩和をさせてきたにも関わらず経済状態はボロボロです。

安倍首相は、経済は回復基調と述べます。しかし回復したのはは大企業ばかりです。

大企業の内部留保は12年の321・3兆円から19年は456・1兆円へと1・42倍増やしました。一方、賃金は停滞しています。12年の561・9万円から19年は584・9万円へとわずかに1・04倍にとどまっています。

雇用については、年金の支

え手が500万人も増えたな

どと雇用の好調を誇示しています。しかし、雇用形態別にみると7割近い347万人は非正規雇用で、正規雇用は155万人増えたにすぎません。19年度の税込については、経済を強くすれば税込が増えてると胸を張っていました。しかし、その後の景気悪化で法人税収を中心に下振れし、

19年度の国の一般会計税収は18年度実績を下回る見込みです。

12年度決算で税収は43・9兆円でした。20年度予算案で税収は史上最大となる63・5兆円を見込んでいます。20兆円近く増えたこととなります。

税込増を税源別にみると、

法人税は1・2倍、所得税は

1・4倍程度にとどまります。

もつとも増えたのは消費税で、10・4兆円から21・7兆円へと2倍以上の増加になります。2度にわたる消費税増税をする一方、大企業を中心に減税を行なった結果です。さらに消費税増税により景気を悪化させ、19年度の税収を下振れさせる要因となりました。

安倍政権のアベノミクスは、日本経済を低迷させ、国民生活を悪化させています。



労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://jmitusega.chips.jp/>